

| | | |
|--|--|--|
| 研究構想シート | 学校名 | 津和野町立日原中学校 |
| | 氏名 | 泉妻 知子 |
| A 研究主題 ともに学び 関わり合って、ともに学び、ともに成長しようとする生徒の育成 | | |
| B 研究の目的 生徒が自ら進んで他者に関わる力を育てること。自分の考えや思いを互いに共有し、それを通して課題を解決したり考えを深めることよさを味わわせる。 | | |
| C 子どもの実態 ○係や委員会・当番活動にも真面目に取り組むことができる明るい生徒が多い ○学校行事にも意欲的に参加し、教員の指示がよくとおる ●自分で考えて行動することや、違う考えや思いの人と意見を交流させながら思考を深めていく活動を苦手としている生徒が多い ●家庭学習の習慣が身についておらず、生活習慣に課題がある生徒もいる | E 手立て・内容（研究仮説） 【研究仮説】 生徒が自分の考えや思いを伝え、他の生徒とともに考える場面を増やしていけば、関わり合って、ともに学び、ともに成長しようとする生徒が育つであろう。 【手だて・内容】 ・授業や学校行事等においてペアやグループ、異年齢集団などのさまざまな形態で、課題を解決する機会を多く持たせる ・生徒の個人端末を含むICTの活用を通じて、一人一人の学力の保障をするとともに、生徒の学ぶ意欲を高める | D めざす子どもの姿 <input type="checkbox"/> 自分の考えや思いを、自分の言葉で語るができる生徒 <input type="checkbox"/> 思いやりの心を持ち、仲間とともに学び、成長する生徒 <input type="checkbox"/> 目標を持ち、実現に向けて挑戦し続ける生徒 |
| | F 検証方法 ・県学力調査、意識調査 ・生徒アンケート ・学校評価アンケート | |
| | G 研究計画 ・一人年1回以上の授業公開を全員が行い、その日に研究協議を行う ・研究協議の視点には、「生徒同士の関わり合いが学習内容の定着や理解が深まることにどのような効果があったのかについて」は必ず入れる。意見を聞いたり、質問したりして、授業者も参観者もその後の参考となるようにする。 | |

こと。